

□講義科目（基礎科目）

科目名	障害者スポーツ実践特論	2 単位
担当者	三井利仁	
テーマ	各障害の特徴を理解し、スポーツを指導ができ、目標・効果を評価できるようになる	
科目のねらい	<p>&lt;キーワード&gt; 障害論、指導法、トレーニング理論、マネジメント</p> <p>&lt;内容の要約&gt; スポーツ基本法の基本理念には、「障害者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう、障害の種類及び程度に応じ必要な配慮をしつつ推進されなければならない。」とある、本講義では、スポーツへのきっかけ、日常化について理解し、さらに強化方法と環境整備について具体的に理解する。また、ヒトがスポーツを継続するためにはヒトの環境に合わせた指導法について学ぶ。障害者スポーツ指導は状況の違うヒトへのスポーツ指導の基本であり、障がい者だけではなく、広くヒトを指導する基本となることができる。</p> <p>&lt;学習目標&gt; 1. 研究を遂行する上で必要な基本的知識を理解し、活用できる。 2. 基本的な知識を基盤として、指導現場における課題を研究計画につなげることができる。 3. 既存の文献で得られた知見について、指導実践への具体的活用を説明できる。 4. 障害者スポーツ研究者としての基本的態度を身に付け、真摯な態度で研究を遂行することができる。</p>	
授業の進め方	<p>第 1 回 ガイダンス 第 2 回 我が国における障害者スポーツ政策について 第 3 回 タレント発掘事業の現状 第 4 回 アスリートパスウェイの基本構造 第 5 回 地域における障害者スポーツの普及の現状 第 6 回 障害児へのスポーツ導入のアプローチ（講師・オンライン） 第 7 回 海外の障害児へのスポーツ指導の事例（講師・オンライン） 第 8 回 車いす使用者の走動作の理解 第 9 回 脳原性麻痺者の走動作の理解 第 10 回 視覚障害者の走動作の理解 第 11 回 義肢装具に関すること 第 12 回 障害のある人のスポーツのきっかけ作り【院生】 第 13 回 障害のある人のスポーツの日常化について 1【院生】 第 14 回 障害のある人のスポーツの日常化について 2【院生】 第 15 回 口頭試問</p>	
事前学習の内容 学習上の注意	<p>履修上の注意 予習：該当する内容について、参考書などを熟読し、疑問点などを明確にして授業に臨むこと。 復習：授業内容を深めるとともに、不明確な内容については再度学習すること。 その他：授業には積極的な姿勢で参加すること。</p>	
本科目の 関連科目	スポーツ共生社会特論	
テキスト	随時、独自に制作された配布資料を用い、その中で参考書などを紹介する。	
参考文献	<p>1. アダプテッド・スポーツの科学—障害者・高齢者のスポーツ実践のための理論(矢部 京之助, 草野勝彦他) 2. リハビリテーション医学・医療コアテキスト 日本リハビリテーション医学会 (著) 3. 障がい者スポーツ指導教本—初級・中級 日本障がい者スポーツ協会</p>	
成績評価方法 と基準	<p>1. 平常点は、授業中のプレゼンテーション、さらに予習・復習で行われるノートの整理、グループワーク課題の記載を 30 点 2. さらに、授業中の各種グループワークへの取り組みの態度を 20 点 3. 定期試験による出題への知識・理解、さらに研究的思考力を 50 点 4. 3 つの合計 100 点中 60 点で合格点とする。</p>	